

平成25年12月17日
一般財団法人 住友生命福祉文化財団

第7回 地域医療貢献奨励賞 受賞者決定について

一般財団法人住友生命福祉文化財団(理事長 阿比野裕)は、自治医科大学(学長 永井良三)の後援を得て、医療に恵まれない地域における医療の確保と向上および住民の福祉の増進を図るため、地域医療に多大な貢献をされている医師を対象とする「地域医療貢献奨励賞」の顕彰を平成19年度より実施しております。

この度、第7回目の受賞者6名が決定いたしましたので、ここに発表いたします。また、表彰式につきましては、平成26年2月8日(土)に、都市センターホテル(東京都千代田区)において実施する予定です。

記

1. 選考対象者

永年に亘り、地域における医療の確保と向上及び住民の健康福祉の増進に著しい寄与・貢献があるとして、都道府県から推薦のある医師。なお、自治医科大学出身者については、同大学を卒業し、義務年限を終了した後も、離島、過疎地域、山村地域、特別豪雪地帯に位置する医療機関(※)又は地域医療を支援する部門(地域医療行政、へき地医療支援機構、へき地医療拠点病院等)において通算5年以上勤務し、且つ、現在も地域医療に多大なる貢献をしている満40才以上の医師。

(※) 離島振興法、山村振興法、過疎地域自立促進特別措置法、豪雪地帯対策特別措置法の指定地域等。

2. 選考方法

次の9名で構成する選考委員会にて審査・選考。(敬称略)

自治医科大学 学長 (選考委員長)	永井 良三
総務省自治財政局 準公営企業室長	大沢 博
厚生労働省医政局 指導課長	梶尾 雅宏
自治医科大学 事務局長	三宅 義彦
自治医科大学 地域医療学センター長	梶井 英治
自治医科大学 卒後指導部長	針田 哲
自治医科大学 顧問指導委員	中川 正久

住友生命保険相互会社 ブランドコミュニケーション部長 藤本 宏樹
一般財団法人住友生命福祉文化財団 常務理事 篠原 照明

3. 受賞者（順不同、敬称略、年齢は平成25年12月2日現在）

朝比奈 利明（あさひな としあき、55才）

山梨県南巨摩郡身延町 身延町早川町組合立飯富病院・院長

昭和58年自治医科大学卒。昭和62年6月から飯富病院の内科医として勤務、以来26年間地域医療に従事し、同病院での外来診療、病棟業務のみならず、同病院が多数配置している出張診療、また訪問診療、往診と昼夜を問わず、一貫して精力的に実施し、在宅医療、へき地医療の充実を図ってきた。平成8年4月に副院長に就任し、併設の介護老人保健施設との連携を強化し、さらに在宅ステーションを開設するなど、医療・介護・在宅とのネットワークを確立した。平成9年には同病院に透析施設の開設を行い、患者さんにとってより身近な医療提供に努め、平成22年4月院長に就任後は、へき地医療拠点病院の先頭に立ち、地域包括医療・ケア実現に取り組んでいる。新医師臨床研修制度における、地域保健・医療分野の研修については、県内随一の人数で初期研修医を受け入れ、また、医学部生にプライマリケアや地域包括医療・ケア、病院間の連携について、その豊富な経験と知識をもって教育を行っている。いまや同病院は山梨県内の地域医療のメッカと認識されるまでになっている。

後藤 忠雄（ごとう ただお、49才）

岐阜県郡上市和良町 郡上市地域医療センター・センター長

平成元年自治医科大学卒。平成3年から延べ20年間岐阜県のほぼ中心に位置する旧和良村（現在郡上市和良町）の郡上市地域医療センター国保和良診療所に勤務し、へき地医療に従事している。平成16年の町村合併を機に、へき地の複数の診療所を地域医療を専門とする複数の総合医によって支え、管理運営する組織が必要であるとの考えを市幹部、議会に自ら説き、へき地医療機関を総括して管理運営する郡上市地域医療センターの立ち上げに尽力した。この試みは、これからのへき地医療を支えるモデルとして、県内の自治体から注目されている。センター長に就任してからは診療所群としての役割として、外来診療、一次医療、在宅医療をより重視し、特に医療過疎地の支援を行うとともに、保健福祉事業としての特定健診、特定高齢者把握も含めた介護保険事業の支援、老人保健施設の運営を行うなど、へき地における保健、医療、福祉を一体として推進した。加えて医学生や研修医の受入れ、高校生、医学生、看護学生を対象としたへき地医療研修会の実施といった医学教育事業や住民と地域医療を考える市民フォーラムの開催、意見交換を行う地域医療懇話会の実施などを積極的に企画し、幅広く精力的に活動している。

高見 徹（たかみ とおる、64才）

鳥取県日野郡日南町 日南町国保日南病院・院長

昭和57年鳥取大学医学部卒。昭和60年から日南町(山村振興法、過疎地域自立促進特別措置法、豪雪地帯対策特別措置法の指定地域)に所在する日南町国民健康保険日南病院において地域医療に従事し、平成9年からは同病院の院長として、臨床の現場に立つ共に、医療、保健、福祉連携の地域包括医療・ケアに力を注ぎ、当県の地域医療の確保、住民の健康福祉の増進に尽力している。日南町は高齢化率が45パーセントを超え、日本の高齢化の30年先を行く高齢化社会を経験しており、このような状況を打開するために、日南病院では「地域自らが、地域の生活自立障害者を地域で支える力をつけること」を目的に、地域住民と医療・保健・福祉の関係者及び行政が連携した医療を、昭和57年から展開している。年間約2,000件行っている訪問診療には、院長自らも赴くなど、「各家庭は病院のベッド、町の道路は病院の廊下」を合い言葉に、病院職員と共に「出掛ける医療」を実践し、住み慣れた家で療養する多くの患者の生活を支えている。

渡辺 俊晴（わたなべ としはる、60才）

香川県高松市塩江町 高松市民病院塩江分院・院長

昭和54年自治医科大学卒。義務年限終了後も引き続き塩江病院内科に勤務し、また、副院長となつてからは病院のマネジメントだけでなく、塩江地域の医療の充実に努めた。平成25年1月、高松市と香川大学の協定締結により、高松市民病院塩江分院及び附属香川診療所をフィールドとする地域包括医療に係る研究や医学生・臨床研修医を対象とする教育・実習等を行う地域包括医療学講座を開設した。8月より、寄附講座による高松市民病院塩江分院等での医師の診療が本格的にはじまり、地域住民の安心・安全につながっている。平成25年度、地域住民との交流や愛着など、地域医療スピリットを学ぶ場を提供する「地域医療スピリット」を高松市民病院塩江分院及び保健センターを拠点に企画、開催した。また、自治医科大学、香川大学医学部附属病院地域医療教育支援センター、香川大学医学部寄附講座「地域包括医療学」との協力・連携のもと、医学生13名だけでなく、自治医科大学卒業医師や香川大学医学部医師を対象とした地域医療教育を実践した。

菊池 良夫（きくち よしお、53才）

愛媛県西予市宇和町 西予市立宇和病院・副院長

昭和59年自治医科大学卒。義務年限終了後、県南予地域のへき地に所在する西予市立宇和病院(へき地医療拠点病院)において約20年間一貫して地域医療に従事している。現在は、内科の診療をはじめ、救急医療への対応、老人福祉施設の嘱託医など幅広い業務に従事しつつ、副院長として院内をまとめ、高齢化率の高い地域の特性を踏まえて、患者それぞれの病状、社会環境に適した治療・看護・介護の実践に取り組んでいる。また、へき地医療拠点病院の医師として、周辺診療所の支援に努めるとともに、臨床研修明け3年目の医師等、将来の地域医療を担う若手医師の指導にも熱心に取り組むなど、地域医療の確保に大きく貢献しており、病院内外の医療関係者からの信頼も厚い。

坪山 明寛（つぼやま あきひろ、67才）

大分県豊後大野市清川町 社会医療法人関愛会清川診療所・所長

昭和48年鹿児島大学医学部卒。昭和59年に豊後大野地域に赴任後、29年にわたり地域医療に貢献している。この地域は、過疎化・高齢化の進んだ山村地域で、平成17年の市町村合併により新しく市が誕生したが、市内に大分県立三重病院、公立おがた総合病院の2つの公立病院があり、医師不足が深刻化する中、病院運営の維持が危惧される事態となった。平成8年から大分県立三重病院長として医師団を率い、二次救急医療機関や災害拠点病院、へき地医療拠点病院など、地域の中核病院として地域医療の充実と向上に努めていたが、このような危機的状況に直面し、公立おがた総合病院との統合を積極的に推進し、平成22年10月、豊後大野市民病院が誕生し、初代病院長に就任した。新病院では、地域で完結できる医療と地域に不足する医療を提供することをめざし、尽力した。また、教育研修環境を整備し、研修医や大分大学医学部学生を受入れるなど、将来の地域医療を担う医師の育成に積極的に取り組んだ。平成25年3月末、新病院の医師確保に一定の目途を立て、病院長職を退任し、現在は豊後大野市清川町の診療所長として、引き続き、地域医療に従事している。

4. 表彰式

- | | |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 日時 | 平成26年2月8日(土) 15:00より |
| (2) 会場 | 都市センターホテル7階701号室
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-1
(TEL) 03-3265-8211 (FAX) 03-3262-3010 |
| (3) 表彰内容 | 表彰状、表彰楯、副賞50万円を授与 |

以上

【問合せ先】

一般財団法人住友生命福祉文化財団 本部事務局 原
〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-5-15
(TEL) 06-6304-8141 (FAX) 06-6304-8041

《参考》過去6回の地域医療貢献奨励賞受賞者(敬称略)

第6回 (平成24年度)

須貝 昌博	山形県西村山郡西川町	西川町立病院 院長
中谷 武	福島県南会津郡南会津町	医療法人南嶺会なかやクリニック 理事長
吉嶺 文俊	新潟県東蒲原郡阿賀町	新潟県立津川病院 院長
浦岡 秀行	徳島県海部郡牟岐町	徳島県立海部病院 部長
小野 歩	高知県幡多郡大月町	大月町国民健康保険大月病院 院長
金丸 吉昌	宮崎県東臼杵郡美郷町	美郷町地域包括医療局 総院長

第5回 (平成23年度)

渋間 久	山形県新庄市	県立新庄病院 副院長
田原 邦朗	東京都西多摩郡檜原村	檜原村国民健康保険檜原診療所 所長
蜂谷 春雄	富山県高岡市	高岡市民病院 内科主任部長
橋本 宏樹	石川県白山市	公立つるぎ病院 副院長兼吉野谷診療所 所長兼中宮診療所 所長
細江 雅彦	岐阜県恵那市	市立恵那病院 管理者
阿部 顕治	島根県浜田市	浜田市国民健康保険弥栄診療所 所長
茶川 治樹	山口県岩国市	岩国市医療センター医師会病院 副院長
永吉 正和	熊本県天草市	天草市病院事業 管理者

第4回 (平成22年度)

木村 康一	宮城県登米市	医療法人社団緑水会米川診療所 所長
小野 剛	秋田県横手市	市立大森病院 院長
鈴木 啓二	福島県会津若松市	福島県立会津総合病院 院長
折茂 賢一郎	群馬県吾妻郡長野原町	西吾妻福祉病院 管理者
濱崎 豊	熊本県天草市	国民健康保険天草市立新和病院 院長
長松 宜哉	大分県大分市	社会医療法人関愛会 理事長

第3回 (平成21年度)

関口 忠司	栃木県那須烏山市	南那須地区広域行政事務組合立 那須南病院 院長
辻 博	富山県黒部市	黒部市民病院 理事
高田 孝	石川県白山市	公立つるぎ病院 名誉院長
河合 邦夫	福井県南条郡南越前町	河野診療所 所長
赤木 重典	京都府京丹後市	京丹後市立久美浜病院 副院長
本永 英治	沖縄県宮古島市	沖縄県立宮古病院 医療部長

第2回（平成20年度）

青沼 孝徳	宮城県遠田郡涌谷町	涌谷町町民医療福祉センター センター長
大森 英俊	茨城県常陸太田市	医療法人大森医院 院長
山田 寛	静岡県静岡市葵区	静岡市国民健康保険井川診療所 所長
廣内 幸雄	和歌山県伊都郡高野町	高野町立高野山病院 院長
渡邊 賢司	鳥取県岩美郡岩美町	岩美町国民健康保険岩美病院 院長
春口 洋賜	熊本県球磨郡多良木町	球磨郡公立多良木病院 副院長

第1回（平成19年度）

葛西 智徳	青森県三戸郡三戸町	国民健康保険三戸中央病院 副院長
布施 克也	新潟県十日町市	県立松代病院 院長
奥野 正孝	三重県鳥羽市	鳥羽市立神島診療所 所長
榊原 均	島根県隠岐郡海士町	海士町国民健康保険海士診療所 所長
津田 俊彦	長崎県五島市奈留町	長崎県離島医療圏組合奈留病院 院長
今隈 満	鹿児島県肝属郡南大隅町	今隈医院 院長（開業）